

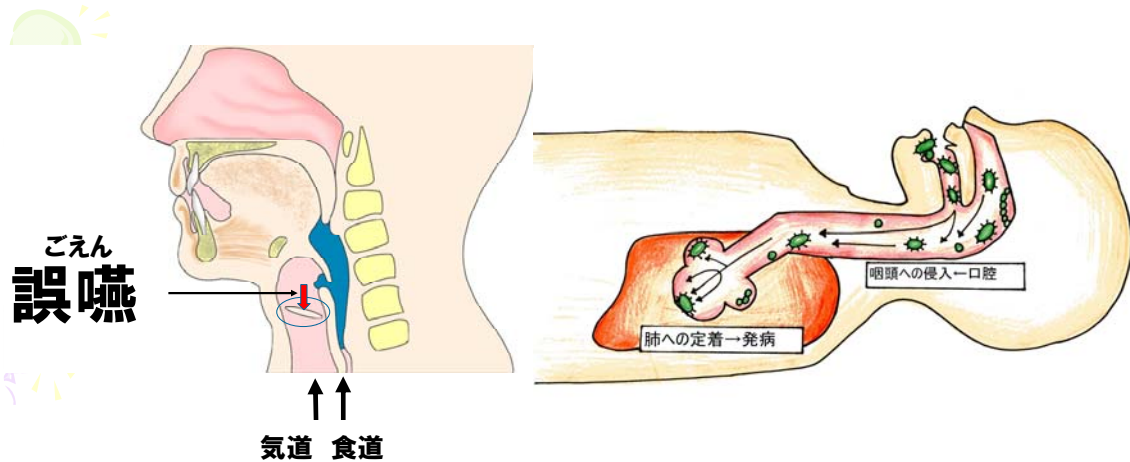


胃ろう手術を受けた方へ（患者さん用）

胃ろうとは、脳血管障害、神経筋疾患（筋萎縮性側索硬化症・脊髄小脳変性症等）や認知症等により、お口から栄養摂取が困難になった場合に、お腹に造ったいわゆる『第二の口』から栄養補給を行う栄養療法です。

胃ろう手術後は、お口を使わないため歯磨きをしなくても良いのですか？

という質問をよく聞かれます。実は、お口から食べなくなると、唾液の量が極端に減少することで、お口の中に炎症を起こしやすいばい菌の塊が増えてきます。そして、お口を使わないことにより唾液の飲み込みが悪くなり、唾液が気管に入りやすくなります。唾液にはお口の中のばい菌が多量に含まれているため肺炎を発症しやすくなります。



- 食物や唾液が誤って気道に入ることを誤嚥といいます。夜寝ている間は『飲み込み反射』が昼間より低下することから、唾液を誤嚥しやすくなります。
- 胃ろう手術を受けた方も唾液分泌されますので、今まで以上にお口の中をキレイにして誤嚥性の肺炎を予防することが重要になります。
- 胃ろう手術の前後には、1度歯科処置を済ませましょう。そして、朝晩の歯磨きを行い、定期的な口腔ケアを受けましょう。

身体の栄養状態を維持するために、胃ろうは大切なルートです。本人の食べる機会や生きる意欲を失うことにならないか？と心配される方も多いと思われませんが、『本人がお口から食事をしたい気持ちを大切に、あくまで生活の質を高める程度のリハビリ：飲み込みリハビリ』が出来る場合もあります。

まず、歯磨きを行い、誤嚥性の肺炎を繰り返さないこと、そして栄養状態を回復して肺炎を起こしにくい状態に戻すことが大切です。